



第13回 『交通安全 高齢者自転車大会』



11月9日（木）、守山市民体育館において、「交通安全高齢者自転車大会」が行われました。65歳から83歳の87名の高齢者のみなさんが参加されました。参加者は4人1組のチームで、実技テストに挑みました。実技テストは自転車の安全な乗り方のテストで、実技テストコースを使用して行われました。まず安全確認の後、発進し、示されたコースへ進行していきます。信号では自転車横断帯を通行し、コーナー手前で停止し、降りて自転車の向きを変えてまたがり、対面する信号が青になったら発進するコースが設けられています。8の字走行やジグザグ走行なども含む難しいコースですが、安全確認や一時停止などに気を付けながら、慎重に自転車のペダルをこぐ姿が見られました。



**見通しの悪い交差点。
大事な確認です。**

今年も高齢者の交通死亡事故は多く発生しております。10月末現在で、自転車事故は639件発生し、5名の方がお亡くなりになっていますが、そのうち高齢者(65歳以上)が3名となっております。

自転車の安全な走行には「身体能力の向上」が必要になります。「バランス」を取ることでふらつきをなくし、安定した運転を行うことができます。また、「安全確認」を意識することで大きな事故に巻き込まれることも減ります。高齢者事故をなくすためにも自転車大会を通して安全運転を意識し、身体能力も普段の生活の中で高めていくきっかけになればと思います。



ジグザグ走行



**バランスを取ることが
大変難しいそうです。**



- 表彰** 団体の部
- ★優勝 草津・栗東地区 あおばなチーム
 - ★準優勝 東近江地区 ホイのぼりチーム
 - ★第3位 近江八幡地区 近江八幡地区Bチーム